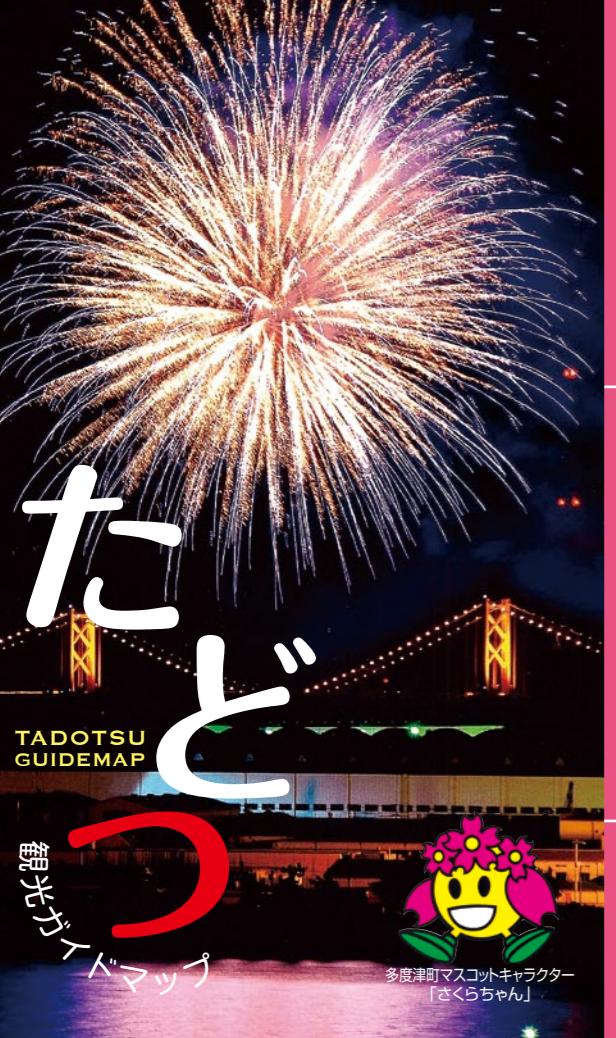


四国・香川県



たどつ夏まつり花火大会

(表紙写真)
毎年8月上旬に、大小4000発の花火が一気に打ち上がり、
真夏の夜空を華やかに彩ります。また、町内企業など1200
名余りが「たどづやし」と「たどつおんどう」を盛大に踊る総
おどり大会も同時開催します。

多度津のイベント

全国凧あげ大会・たどつさくらまつり



毎年4月上旬に開催され、全国約20都道府県から40余りの団体が参加して、凧上げ合戦が盛大に繰り広げられます。
また、県立桃陵公園では、約2千本のソメイヨシノが咲き誇り、
桜の開花に合わせてライトアップも行われます。

1

27 佐柳島



22 高見島



三洋汽船株式会社多度津営業所 (0877) 32-2528

●時刻表(多度津～高見～佐柳)

多度津	高見	佐柳本浦	佐柳長崎	岩坪(岡山)
6:55	7:20	→	7:50	
9:05	9:30	9:55		
14:00	14:25	14:50	15:05	
		14:50*	→ 15:10*	
16:20	16:45	17:10		

岩坪(岡山)	佐柳長崎	佐柳本浦	高見	多度津
7:50	8:05	8:30	8:55	
	10:00	10:25	10:50	
	15:05	15:25	15:50	16:15
	17:10	17:35	18:00	

※注意: 土曜のみ運航



亀笠島

高見港

佐柳島

岩坪(岡山)

多度津

高見

佐柳

長崎

本浦

岩坪

岡山

多度津

高見

スローライフ・アイランド 高見島&佐柳島

B-1 たかみじま 22 高見島

高見島は多度津町の西北7.4kmの沖合にあり、浦・浜の二つの集落と板持集落跡からなる小島です。



A-1 さなぎじま 27 佐柳島

佐柳島は多度津町の西北14.8kmの沖合にあり、本浦・長崎の二つの集落からなる小島です。



A-1 はちまんじゅうしゃ 28 八幡神社

本浦に位置する八幡神社には、1824年(文政7年)奉納の北前船の模型があります。交易を成業していた当時の佐柳島の人たちのようすを偲ぶことができます。



A-2 だいてんぐじゅ 29 大天狗神社

つづら折りになった石段を登り、山頂まで行くと、珍しい大天狗の石像があります。参詣すると、失せ物が見つかり、また、泥棒除けにもなるという言い伝えがあります。



A-1 りょうぼせ 30 両墓制

佐柳島・高見島とともに土葬の風習のなごりから埋め墓と参り墓の2つの墓で構成された両墓制になっています。特に長崎の埋め墓は埋葬した上に浜辺の丸い石をごろごろと盛り上げて作られており日本の埋葬の歴史を知るうえで大変貴重です。



第77番札所
E-3 どうりゅうじ
1 道隆寺

四国霊場第77番札所。奈良時代のはじめ、土地の豪族、和氣道公が薬師如来をご本尊に祀って御堂を建てたのが起源とされています。また、「眼なおし薬師」の名でも親しまれ、年間を通じて多くの参拝客で賑わっています。国・県の指定文化財が数多く収蔵されています。☎ 0877-32-3577



B-3 A-3 びょうぶがうらかいがんじほんばう 2 3 屏風浦海岸寺本坊・奥之院

四国別格二十霊場第18番札所。奥之院では、真言宗の開祖弘法大師(空海)の母親である玉依御前の出身地とされおり、この地に産屋を設けて大師を出産したと伝えられています。本坊の山門には仁王像の代わりに、地元出身力士の琴ヶ浜、大豪をモデルにした金剛力士像が立っています。☎ 0877-33-3333



B-4 ぶつもいん 4 仏母院

弘法大師の母玉依御前の御屋敷跡であり、ここで弘法大師を出産したと言われており、空海の躋の緒を納めたと言われる「胞衣塚」(えなづか)があります。☎ 0877-32-2079

B-4 くまではちまんぐう 5 熊手八幡宮

応神天皇と母君を主祭神とする神社です。弘法大師の母玉依御前がこの地の産土神である熊手八幡宮に子宝授与を祈願して弘法大師を身ごもったといわれています。



多度津町マスコットキャラクター
「さくらちゃん」



A-5 はやしもとめでい 6 林求馬邸

江戸時代末期に家老であった林求馬が、外国船からの砲撃を避けるために、別の御殿を作ったのに先立ち建てた家老屋敷です。

☎ 0877-33-0700 (町教育委員会)

D-3 とみいてい 7 富井邸

富井家住宅主屋・新座敷・土蔵・門が、国の登録有形文化財として登録。主屋は、文政11(1828)年、その他は江戸末期に建築されました。☎ 0877-33-1733



E-4 かもじんじゃ 8 加茂神社(南鶴)

県指定文化財の「南鶴念仏踊」や「大般若経六百巻」を有する南鶴や北鶴の産土神を祀った神社です。中世から続く町内で由緒ある神社の一つです。



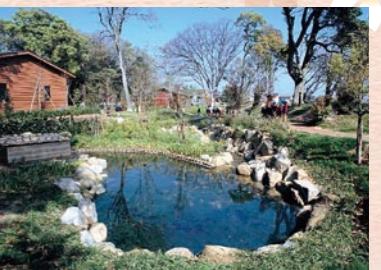
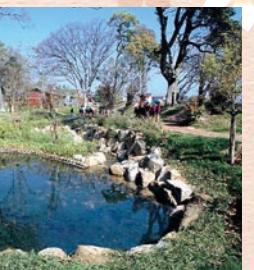
E-5 かわらしょうはちまんじんじゃ 9 葛原正八幡神社

境内にはクスノキなどの古木が茂り、「葛原正八幡宮社叢」として香川県自然記念物に指定されています。



B-5 もりつちやまこふん 10 盛土山古墳

築造時期は5世紀末と推定され、墳頂から組合式の箱式石棺が見つかっており、銅鏡や勾玉などが出土しました。(1976(昭和51)年県指定史跡に指定。出土品は東京国立博物館にて保管)



B-5 あまきりじょあと 11 天霧城跡(天霧山)

貞治年間(1362年~1368年)に相模國香川荘の出身である香川氏によって築城されました。天霧山(標高381m)の山頂に位置し、最高所に本丸があり、東に向かって二の丸・三の丸などが配される四国を代表する中世山城の一つです。奇岩が多く、断崖絶壁に囲まれた自然の要害(地勢の険しい場所)で、その地形を生かして築造されています。



C-4 さくらもりたかはら 12 桜の森高原

ソメイヨシノより開花の遅い400本のサツカクラが植えられており、長く桜を楽しむことができます。また、展望広場からは、丸亀平野と瀬戸内海の素晴らしい眺望が開けています。



D-3 18 明治から大正時代に建てられた「きしゃば」「右はしくら道・すぐ金刀比羅道・すぐふなバ」と記された道標。

明治から大正時代に建てられた「きしゃば」「右はしくら道・すぐ金刀比羅道・すぐふなバ」と記された道標。



C-4 17 少林寺拳法発祥のまち

明治22年5月23日讃岐鉄道株式会社が多度津を起點に丸亀～琴平間(16.4km)で営業を始めたのが鉄道の始まりです。現在のJR多度津駅には、四国の鉄道発祥100周年を記念して、昭和10年から45年ごろまで、四国の山野をかけめぐった8620形蒸気機関車の動輪が、JR四国によって建立・保存されています。



D-4 16 四国の鉄道発祥のまち

明治22年5月23日讃岐鉄道株式会社が多度津を起



C-4 17 少林寺拳法発祥のまち

少林寺拳法は、宗道臣が、昭和22(1947)



D-4 16 四国の鉄道発祥のまち

明治22年5月23日讃岐鉄道株式会社が多度津を起



C-4 17 少林寺拳法発祥のまち

少林寺拳法は、宗道臣が、昭和22(1947)



D-4 16 四国の鉄道発祥のまち

明治22年5月23日讃岐鉄道株式会社が多度津を起



C-4 17 少林寺拳法発祥のまち

少林寺拳法は、宗道臣が、昭和22(1947)



D-4 16 四国の鉄道発祥のまち

明治22年5月23日讃岐鉄道株式会社が多度津を起



C-4 17 少林寺拳法発祥のまち

少林寺拳法は、宗道臣が、昭和22(1947)



D-4 16 四国の鉄道発祥のまち

明治22年5月23日讃岐鉄道株式会社が多度津を起



C-4 17 少林寺拳法発祥のまち

少林寺拳法は、宗道臣が、昭和22(1947)



D-4 16 四国の鉄道発祥のまち

明治22年5月23日讃岐鉄道株式会社が多度津を起



C-4 17 少林寺拳法発祥のまち

少林寺拳法は、宗道臣が、昭和22(1947)



D-4 16 四国の鉄道発祥のまち

明治22年5月23日讃岐鉄道株式会社が多度津を起



C-4 17 少林寺拳法発祥のまち

少林寺拳法は、宗道臣が、昭和22(1947)



D-4 16